

基 本 計 画 書

基 本 計 画									
事 項		記 入 欄						備 考	
計 画 の 区 分		短期大学の学科の設置							
フ リ ガ ナ 設 置 者		カ ^カ ツコウホリジン カンサイガ ^カ イコゴ ^カ ダイガ ^カ ク							
フ リ ガ ナ 大 学 の 名 称		カンサイガ ^カ イコゴ ^カ ダイガ ^カ クタンキダ ^カ イガ ^カ ク							
大 学 本 部 の 位 置		大阪府枚方市中宮東之町16番1号							
大 学 の 目 的		建学の理念に則り、公正な世界観にもとづき時代と社会の要請に応じていく実学の教授研究を通して、国際社会に貢献できる豊かな教養を備えた人材を育成することを目的とする。							
新 設 学 部 等 の 目 的		英語コミュニケーション力と情報リテラシーの向上を図るとともに、自らのキャリア形成の過程で、未来を展望し柔軟に対応できる実務的な職業人の育成を目的とする。							
新設学部等の概要	新 設 学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所 在 地	
	未来キャリア英語学科 (Division of International Future Career)	2年	150人	年次人 -	300人	短期大学士 (キャリア英語)	令和6年4月 第1年次	大阪府枚方市中宮東之町16番1号	
	計		150	-	300				
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)		令和5年12月 収容定員の変更に係る学則変更届出予定 短期大学部 英米語学科〔定員減〕 (△250) (令和6年4月) 令和5年4月 学部の学科設置届出予定 外国語学部国際日本学科 (200) 令和5年12月 収容定員の変更に係る学則変更届出予定 外国語学部 英米語学科〔定員減〕 (△135) (令和6年4月) 英米語学科〔3年次編入学定員減〕 (△100) (令和6年4月) スペイン語学科〔3年次編入学定員減〕 (△5) (令和6年4月) 英語国際学部 英語国際学科〔3年次編入学定員減〕 (△25) (令和6年4月)							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	未来キャリア英語学科	28科目	24科目	24科目	76科目	64単位			
教員組織の概要	学 部 等 の 名 称			専任教員等					兼 任 教 員 等
				教授	准教授	講師	助教	計	助手
	新設分	短期大学部 未来キャリア英語学科	3人 (3)	2人 (2)	4人 (4)	0人 (0)	9人 (9)	0人 (0)	27人 (26)
		計	3人 (3)	2人 (2)	4人 (4)	0人 (0)	9人 (9)	0人 (0)	-人 (-)
		既設分	英米語学科	19人 (19)	12人 (12)	6人 (6)	1人 (1)	38人 (38)	0人 (0)
		計	19人 (19)	12人 (12)	6人 (6)	1人 (1)	38人 (38)	0人 (0)	-人 (-)
合 計			22人 (22)	14人 (14)	10人 (10)	1人 (1)	47人 (47)	0人 (0)	-人 (-)

教員以外の職員の概要	職 種			専 任		兼 任		計		職員については、併設 大学学部と共通
	事 務 職 員			153 (153)		29 (29)		182 (182)		
	技 術 職 員			0 (0)		15 (15)		15 (15)		
	図 書 館 専 門 職 員			8 (8)		18 (18)		26 (26)		
	そ の 他 の 職 員			0 (0)		143 (143)		143 (143)		
	計			161 (161)		205 (205)		366 (366)		
校 地 等	区 分		専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計		中宮キャンパス全体 共用は関西外国語大学 (必要面積 69,800 ㎡)
	校 舎 敷 地		0㎡	160822.61㎡		0㎡		160822.61㎡		
	運 動 場 用 地		0㎡	71965.08㎡		0㎡		71965.08㎡		
	小 計		0㎡	232787.69㎡		0㎡		232787.69㎡		
	そ の 他		0㎡	8733.22㎡		0㎡		8733.22㎡		
	合 計		0㎡	474308.60㎡		0㎡		474308.60㎡		
校 舎			専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計		中宮キャンパス全体 共用は関西外国語大学 (必要面積 27,960.80 ㎡)
			5,913.55㎡ (5,913.55㎡)	56,012.86㎡ (56,012.86㎡)		21,237.34㎡ (21,237.34㎡)		83,163.75㎡ (83,163.75㎡)		
教室等	講義室		演習室	実験実習室		情報処理学習施設		語学学習施設		中宮キャンパス全体
	151室		93室	10室		7室 (補助職員 人)		5室 (補助職員 人)		
専 任 教 員 研 究 室			新設学部等の名称				室 数			中宮キャンパス全体 238室 うち空室27室
			短期大学部 未来キャリア英語学科				9 室			
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体 図書584,607[251,527] 雑誌 2,762[761]	
	短期大学部 未来 キャリア英語学科		30,000[12,500] (27,907[11,322])	500 [330] (463[313])	30,000[29,600] (28,031[27,970])	6,500 (6,679)	400 (358)	0 (0)		
	計		30,000[12,500] (27,907[11,322])	500 [330] (463[313])	30,000[29,600] (28,031[27,970])	6,500 (6,679)	400 (358)	0 (0)		
図書館			面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			中宮キャンパス全体
			18,120 ㎡		2,066 席		815,166			
体育館			面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
			14,453.63㎡		テニスコート		アーチェリー練習場			
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	届出学科全体
		教員1人当り研究費等		400千円	400千円	-	-	-	-	
		共 同 研 究 費 等		2,500千円	2,500千円	-	-	-	-	
		図 書 購 入 費	300千円	300千円	300千円	-	-	-	-	
		設 備 購 入 費	-	-	-	-	-	-	-	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		1,320千円	1,070千円	千円	千円	千円	千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、私立大学等経常経費補助金 等						
既設大学等の状況	大 学 の 名 称 関西外国語大学短期大学部									
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	定 員 超過率 (収容定 員充足 率)	開設 年度	所 在 地	
	英米語学科	2	800	年次人 -	1600	短期大学士 (英語学)	0.71	昭和28年度	大阪府枚方市中宮 東之町16番1号	

既設大学等の状況	大 学 の 名 称	関西外国語大学								
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	定 員 超過率 (収容定 員充足 率)	開設 年度	所 在 地	
	外国語学部	年	人	年次 人	人		倍			
	英米語学科	4	865	300	4975	学士 (英語学)	1.03 1.05	昭和41年度	大阪府枚方市中宮 東之町16番1号	
	スペイン語学科	4	250	25	1050	学士 (スペイン語学)	0.96	昭和41年度	同上	
	英語・デジタルコミュニ ケーション学科	4	200	0	200	学士 (英語学)	1.05	令和5年度	同上	
	英語国際学部			3年次			1.03			
	英語国際学科	4	700	100	3000	学士 (英語国際)	1.03	平成26年度	大阪府枚方市御殿 山南町6番1号	
	英語キャリア学部						0.95			
	英語キャリア学科	4	120	-	480	学士 (英語キャリア)	1.00	平成25年度	大阪府枚方市中宮 東之町16番1号	
	英語キャリア学科 小学校教員コース	4	50	-	140	学士 (教育)	0.81	平成25年度	同上	
	国際共生学部						1.05			
	国際共生学科	4	70	30	70	学士 (国際共生)	1.05	令和5年度	大阪府枚方市中宮 東之町16番1号	
	外国語学研究科						0.55			
	博士前期課程 英語学専攻	2	15	-	30	修士 (英語学) 修士 (英語教育)	0.46	昭和48年度	同上	
	言語文化専攻	2	20	-	40	修士 (言語文化) 修士 (日本語学) 修士 (国際共生 コミュニケーション)	0.62	昭和51年度	同上	
	博士後期課程 英語学専攻	3	3	-	9	博士 (英語学) 博士 (英語教育)	0.44 0.33	昭和54年度	同上	
	言語文化専攻	3	3	-	9	博士 (言語学) 博士 (言語文化) 博士 (日本語学) 博士 (文化人類学) 博士 (比較文化学)	0.55	昭和54年度	同上	
附属施設の概要		名 称 目 的 所在地 設置年月 規模等	国際文化研究所 文化人類学に関する調査研究、特に各国の文化の比較研究を行 い、世界諸民族の文化の友好親善に貢献することを目的とする。 大阪府枚方市中宮東之町16番1号 昭和47年4月 インターナショナル・コミュニケーション・センターの4階の一部 を使用							
		名 称 目 的 所在地 設置年月 規模等	人権教育思想研究所 人権問題および人権教育思想について研究調査し、基本的人権の 確立に努めることを目的とする。 大阪府枚方市中宮東之町16番1号 平成6年4月 インターナショナル・コミュニケーション・センターの4階の一部 を使用							

附属施設の概要	名 称 目 的 所在地 設置年月 規模等	教職教育センター 本学「教職課程」履修者を対象にした教員養成に係る支援活動および小・中・高等学校等との教育研究連携事業を通じた教育現場での諸課題の教育研究等により、幅広く学内外の教育政策・事業全般の推進に貢献することを目的とする。 大阪府枚方市中宮東之町16番1号 平成15年9月 インターナショナル・コミュニケーション・センターの1階の一部を使用	
	名 称 目 的 所在地 設置年月 規模等	イベロアメリカ研究センター スペイン、ポルトガルならびにラテンアメリカを対象とする研究を行い、実践的な外国語能力と国際社会に通用する知識と情報を学内外に供することを目的とする。 大阪府枚方市中宮東之町16番1号 平成22年4月 インターナショナル・コミュニケーション・センターの4階の一部を使用	

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「－」又は「該当なし」と記入すること。

教 育 課 程 等 の 概 要															
(未来キャリア英語学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 必修 科目	English for Social Issues A	1前	4				○		1		1			兼2	
	English for Social Issues B	1前	4				○				2				
	English for Social Issues C	1後	4				○		1		1			兼2	
	English for Social Issues D	1後	4				○				2				
	English for Global Issues A	2前	4				○		1		3				
	English for Global Issues B	2後	4				○		1		3				
	K. G. C. ベーシックス A	1前	2			○			3	2	1				
	K. G. C. ベーシックス B	1後	2			○			3	2	1				
	K. G. C. ベーシックス C	2前	2			○			3	2	1				
	小計（9科目）	—	30	0	0	—			3	2	4	0	0	兼2	
専門 選択 科目	サービスホスピタリティ演習	1前・後		2			○							兼1	
	カラーコーディネート実践	1前・後		2		○								兼1	
	ファッションコーディネート実践	1前・後		4		○								兼1	
	ドクターズクラーク実践	1前・後		4		○								兼1	
	ブライダル・ビジネス	1前・後		4		○								兼1	
	観光・ビジネス	1前・後		2		○				1					
	エアライン・ビジネス	1前・後		4		○								兼1	
	ホテル・ビジネス	1前・後		4		○								兼1	
	ツーリズム演習	2前・後		2			○			1					
	ホスピタリティ	1前・後		4		○								兼1	
	文化とくらし	1前・後		4		○								兼1	
	秘書学概論	1前・後		2		○								兼1	
	秘書実務	1前・後		2		○								兼1	
	情報リテラシー A	1前		1				○						兼1	
	情報リテラシー B	1後		1				○						兼1	
	情報処理概論	1前・後		4		○								兼1	
	キャリアプランニング	1後		2		○			3	2	1				
	キャリア形成	1前・後		2		○				1					
	ビジネス入門	1前・後		4		○			1						
	海外企業研究	1前		2		○			1						
	日本語文章表現法	1前・後		4		○			1						
	TOEFL演習	1前・後		2			○				1				
	TOEIC演習	1前・後		2			○							兼1	
	英検演習	1前・後		2			○							兼1	
	就業体験型PBL	1後		2			○			1					
	試験英語A	2前・後		2				○						兼1	※1
	試験英語B	2前・後		2				○						兼1	※1
	試験英語C	2前・後		2				○						兼1	※1
	海外事情研究A	1・2前・後		4				○						兼1	※2
	海外事情研究B	1・2前・後		4				○						兼1	※2
	海外事情研究C	1・2前・後		4				○						兼1	※2
	海外事情研究D	1・2前・後		4				○						兼1	※2
	海外事情研究E	1・2前・後		4				○						兼1	※2
	海外事情研究F	1・2前・後		4				○						兼1	※2
	海外事情研究G	1・2前・後		4				○						兼1	※2
	小計（35科目）	—	0	102	0	—			3	2	2	0	0	兼15	

教 育 課 程 等 の 概 要																
(未来キャリア英語学科)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養 教育 科目	人権問題論	1前		4		○									兼1	
	法学（日本国憲法2単位を含む）	1前・後		4		○									兼1	
	企業倫理	1前・後		4		○									兼1	
	総合科目A	1前		4		○				1						
	総合科目B	1前・後		4		○									兼1	
	総合科目C	1前・後		4		○				1						
	総合科目D	1前		2		○									兼1	
	総合科目E	1後		2		○									兼1	
	スポーツ健康科学A	1前・後		2				○							兼1	
	スポーツ健康科学B	1前・後		2				○							兼1	
	ボランティア実習A	1・2前・後		2				○							兼1	※3
	ボランティア実習B	1・2前・後		2				○							兼1	※3
	ボランティア実習C	1・2前・後		2				○							兼1	※3
	ボランティア実習D	1・2前・後		2				○							兼1	※3
	ボランティア実習E	1・2前・後		1				○							兼1	※3
	就業体験実習A	1・2前・後		2				○							兼1	※3
	就業体験実習B	1・2前・後		2				○							兼1	※3
	就業体験実習C	1・2前・後		2				○							兼1	※3
	就業体験実習D	1・2前・後		2				○							兼1	※3
	就業体験実習E	1・2前・後		1				○							兼1	※3
	中国語Ⅰ	1前		2			○					1				
	中国語Ⅱ	1後		2			○					1				
	中国語Ⅲ	2前		2			○					1				
	中国語Ⅳ	2後		2			○					1				
	スペイン語Ⅰ	1前		2			○								兼1	
	スペイン語Ⅱ	1後		2			○								兼1	
	スペイン語Ⅲ	2前		2			○								兼1	
	スペイン語Ⅳ	2後		2			○								兼1	
	フランス語Ⅰ	1前		2			○								兼1	
	フランス語Ⅱ	1後		2			○								兼1	
	ハングルⅠ	1前		2			○								兼1	
	ハングルⅡ	1後		2			○								兼1	
	小計（32科目）		—	0	74	0	—			1	1	1	0	0	兼10	
合計（76科目）		—	30	176	0	—			3	2	4	0	0	兼27		
学位又は称号		短期大学士（キャリア英語）			学位又は学科の分野				文学関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
専門必修科目 30単位								1 学年の学期区分					2学期			
専門選択科目 28単位（※）								1 学期の授業期間					15週			
教養教育科目 6単位								1 時限の授業時間					90分			
※：専門選択科目の卒業所要単位を超えて修得した単位は、教養教育科目の修得単位として含めることができる。 （履修科目の登録の上限：24単位（セメスター））																
備考※1：英検やTOEFL対策授業、特別プログラムなどを受講し、外部試験において、一定の資格または得点の条件を充足した場合に単位認定を行う科目。																
備考※2：留学準備教育のための授業・留学中の学修等について単位認定を行う科目。																
備考※3：ボランティア活動や就業体験における学修（事前・事後指導含む）等について単位認定を行う科目。																

授 業 科 目 の 概 要			
（未来キャリア英語学科）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門必修科目	English for Social Issues A	本科目は、高校卒業までに身に付けた英語力を基に、文化・社会・環境問題や世界各地の時事問題を含むSocial Issuesを「英語で学ぶ」コンテンツベース法で授業を展開する。共通のテーマ・教材を使って、受信力に重点を置きながら「読む、書く、聞く、話す」の4技能をバランスよく養成する。また、テキスト、英字新聞、CDを通して様々なSocial Issuesへの理解を深め、大学生・社会人として必要な幅広い知識を身につける。	
	English for Social Issues B	本科目は、高校卒業までに身に付けた英語力を基に、文化・社会・環境問題や世界各地の時事問題を含むSocial Issuesを「英語で学ぶ」コンテンツベース法で授業を展開する。共通のテーマ・教材を使って、発信力「スピーキング&ライティング」に重点を置き、「読む、書く、聞く、話す」の4技能をバランスよく養成する。また、テキスト、英字新聞、CDを通して様々なSocial Issuesへの理解を深め、大学生・社会人として必要な幅広い知識を身につける。「English for Social Issues A」で培った知識を基に、英語で自らの意見をディスカッションやエッセイの中で論理的に表現する。	
	English for Social Issues C	本科目は、「English for Social Issues A・B」での学びを基に、さらに発展した内容のSocial Issuesに焦点をあてて「英語で知識を身につける」授業を展開する。共通のテーマ・教材を使って、受信力「リーディング&リスニング」に重点を置き、4技能をバランスよく養成する。また、テキスト、英字新聞、CDを通して、様々なSocial Issuesへの理解を深め、幅広い知識を身につける。	
	English for Social Issues D	本科目は、「English for Social Issues A・B」での学びを基に、さらに発展した内容のSocial Issuesに焦点をあてて「英語で知識を身につける」授業を展開する。共通のテーマ・教材を使って、発信力「スピーキング&ライティング」に重点を置き、4技能をバランスよく養成する。また、テキスト、英字新聞、CDを通して、様々なSocial Issuesへの理解を深め、幅広い知識を身につける。	
	English for Global Issues A	本科目は、世界の共通課題であるGlobal Issuesを英語で学び、自らの意見を発表やエッセイにまとめて英語で発信する。様々なGlobal Issuesを学びながら、総合的な英語コミュニケーション力の向上を目指すとともに、地球市民として重要な資質であるクリティカル・シンキング「論理的かつ批判的に考える力」を養成する。	
	English for Global Issues B	本科目は、「English for Global Issues A」での学びを基に、さらに発展した内容のGlobal Issuesを英語で学び、自らの意見を発表やエッセイにまとめて英語で発信する。様々なGlobal Issuesを学びながら、総合的な英語コミュニケーション力の向上を目指すとともに、地球市民として重要な資質であるクリティカル・シンキング「論理的かつ批判的に考える力」を養成する。	
	K. G. C. ベーシックス A	本科目は、「 <u>Kansai Gaidai College</u> 」の学生としての知識、マナー、コミュニケーション力などのベーシックス（基礎）を養成し、未来に向けたキャリア形成ができるようになることを目的とした必修科目である。特に、K.G.C. ベーシックスAでは、学内のルールや情報活用マナーを順守する重要性を理解し、未来の職業人としての資質を醸成する。	
	K. G. C. ベーシックス B	本科目は、「 <u>Kansai Gaidai College</u> 」の学生としての知識、マナー、コミュニケーション力などのベーシックス（基礎）を養成し、未来に向けたキャリア形成ができるようになることを目的とした必修科目である。特に、K.G.C. ベーシックスBでは、市民社会や本学の一員であることの自覚と誇りを持って、現代社会の多様な課題を理解する。	

授 業 科 目 の 概 要			
（未来キャリア英語学科）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門必修科目	K. G. C. ベーシックス C	本科目は、「Kansai Gaidai College」の学生としての知識、マナー、コミュニケーション力などのベーシックス（基礎）を養成し、未来に向けたキャリア形成ができるようになることを目的とした必修科目である。特に、K.G.C. ベーシックスCでは、与えられた課題に対して、グループ毎の多様なメンバーと共に解決策を見出し発表する活動に取り組む。	
専門選択科目	サービスホスピタリティ演習	本科目は、サービス接遇に対する心構えや対応の技術、態度や行動などを学び、サービスホスピタリティ系企業をはじめとする多くの企業が重要視している「サービス接遇」とは何かを考え、必要な知識とスキルを身につけることを目的とする。また、サービス接遇検定の取得に必要な知識やスキルを身につける。	
	カラーコーディネート実践	本科目は、色に関する様々な知識を修得して、ビジネスシーンでの効果的な配色とは何かを学ぶことを目的とする。色と配色の知見はファッション業界をはじめとして、インテリア業界や食品業界など多様な業態での活用が期待できる。また、カラーコーディネーター検定や色彩検定の取得に必要な知識やスキルを身につける。	
	ファッションコーディネート実践	本科目は、ファッション業界で必要とされる販売のスキルやセールスの方法、店舗のマネジメント力、接客の態度やマナーなどを学ぶことを目的とする。また、専門的な知識を必要とするファッション販売で活躍できる人材を育成するというファッション販売能力検定の受験に向けて、その取得に必要な知識とスキルを身につける。	
	ドクターズクランク実践	本科目は、多くの医療機関での活躍が期待できる医師事務作業補助職（ドクターズクランク）について学ぶ。これまで、医師が行ってきた診断書や証明書などの文書作成、処方せんの作成を補助するために必要とされる医師事務への基本的な知識やスキルを身につける。	
	ブライダル・ビジネス	本科目は、多種多様なブライダルの業務を知り、顧客のニーズを理解し、潜在的なニーズに応じたブライダルを提供するために必須のコミュニケーション力やプランニング力などを身につけていく。また、ブライダルコーディネーター関連の資格の取得に必要な知識やスキルを身につける。	
	観光・ビジネス	本科目は、観光の概念、観光の歴史、国際観光の現状、日本の観光振興政策、観光のもたらす経済効果、観光資源の保護や環境保全との調和など持続可能な観光の在り方に関する理解を深める。近年の観光の多様化とともに、観光ビジネスの多角化についても学び、これからの観光および観光ビジネスの在り方について考察する。そのような学びを通じて、観光業を目指すキャリア形成に資することを目的とする。	
	エアライン・ビジネス	本科目は、民間航空発展の歴史、2国間航空協定を柱とする国際航空の枠組み、国籍要件、安全に関する諸規制、規制緩和の流れ、自由化の動向、また航空事業の特性・その内容など、航空事業全般にわたる理解の修得を目標とする。さらに、日本・世界の航空界の動向や日本での空港、航空行政の問題点などを考察し、グローバル世界の形成に必須の産業となっているエアライン・ビジネスのこれからの在り方について探究する。	
	ホテル・ビジネス	本科目は、日本独特の「おもてなしの心」が時代と共に発展していった経緯や世界のホテルの歴史との関係を考察する。そして現状の問題点を掘り起こし、将来のホテルビジネスの展望を探究する。さらにホテルビジネスの必須条件であるホスピタリティマインドの修得も目指す。こういった学びや活動を通して将来のホテル業界を志向するキャリア形成に資するものとする。	

授 業 科 目 の 概 要			
（未来キャリア英語学科）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 選 択 科 目	ツーリズム演習	本科目は、社会の進展とともに発展してきた様々な新しい観光（ニューツーリズム）についてそれぞれの形態や意義、そして実態について学ぶ。また、オーバーツーリズムと言われる負の側面についても考察し、その解決策や持続可能なツーリズムの在り方について探究する。	
	ホスピタリティ	本科目は、サービスとは何か、心からの親切なおもてなしを意味するホスピタリティとは何かを様々な観点から学ぶ。上手な話し方、聞き方などコミュニケーション能力の高め方、異文化間のコミュニケーション、エチケットとマナー、美しい日本語・敬語の使い方などを実践的に学び、修得することを目指す。さらには近年ますます重要性を増しているホスピタリティ・マネジメント、CS（顧客満足）経営の考え方を学ぶ。	
	文化とくらし	本科目は、文化をテーマに、世界の衣食住の生活習慣や価値観など「ひと・もの・こと」について探究する。同時に我が国の文化や歴史などとも比較しながら、幅広い見方や柔軟な考え方をもちたグローバルな人材の育成を目指す。また、過去や現代の社会事象の仕組みや成り立ちに関する知見を深め、未来の社会を考察する。	
	秘書学概論	本科目は、ビジネス全般の基礎知識の学習、および英語によるコミュニケーション力の向上を目的とする。貿易書簡の作成、電話・ファックス・Eメールの利用、外国からの来客の接遇や商談などに必要な英語力の修得を目指す。	
	秘書実務	本科目は、秘書検定試験学習を通して、実社会におけるビジネス実務の概要を学ぶ。実社会で必要な秘書の職務内容や、接遇マナーを学び、判断力、表現力、機敏で機転を利かした行動力を養う。「1挨拶」「2敬語」「3気配り」などのマナーと資質を養い、「4秘書の職務知識」や「5社会の一般知識」を修得して就職基礎能力をつけ、安心・信頼を与える社会人を養成し、就職活動に役立てる。	
	情報リテラシー A	本科目は、OSソフト“Windows”を用い、将来のあらゆるコンピュータ利用につながる操作の基礎を理解し、情報機器の実践的な技能修得を目指すと共に、情報化社会に対応し得る情報処理方法について幅広く修得する。ワープロソフト（MS-WORD）を使用し、レポート作成技能、就職後に役立つビジネス文書の知識も身につける。また、インターネットの利用・メールの作成等を体験し、現代のスピーディな情報時代に適応できる能力を体得する。	
	情報リテラシー B	本科目は、OSソフト“Windows”を用い、将来のあらゆるコンピュータ利用につながる操作の基礎を理解し、情報機器の実践的な技能修得を目指すと共に、情報化社会に対応し得る情報処理方法について幅広く学習する。また、表計算ソフト（MS-EXCEL）を使用し、表・グラフの作成・データベースの活用法を修得する。	
	情報処理概論	本科目は、急激に変化し多様化する情報化社会における情報システムの役割・位置付けを理解するため、コンピュータの歴史やコンピュータを構成しているソフトウェア及びハードウェアに関する基礎知識について学習する。さらに、インターネットや情報セキュリティがビジネス・教育・生活環境等に与えた影響と発展について理論的かつ実践的に学ぶことにより、グローバル社会で必要とされる情報リテラシースキルを身につけることを目標とする。	
	キャリアプランニング	本科目は、働くことの意義を考え、健全なキャリア形成を目指す科目である。短期的な進路選択である就職活動に向け、礼節やマナー、自己分析や業界研究等といった内容も学ぶが、「未来の自分はなっていたいのか」といった生涯を通じたキャリア・プランニングについても学習していく。	

授 業 科 目 の 概 要			
（未来キャリア英語学科）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門選択科目	キャリア形成	実社会には様々な業界と職種がある。代表的な業界とそこでの職種についての話を聞くことを通して、自分の適職へのアプローチ方法を学び、理解する。本科目では本学学生の志望の高い業界を主体に、その第一線で活躍している方々を毎週、講師として招き、「業界（企業・団体）の現状」「今後の動向」や「求められる人材」について研究する。そして、自分の職業理解と、実際に企業で働くこととの違いを修得しながら、自分に合った就職先=適職を見つけ、卒業後のキャリアデザインに結びつける。	
	ビジネス入門	本科目は、経営（マネジメント）に関わる基礎的な理論・知識を体系的に学ぶ。経営（マネジメント）とは、組織で人が働き、仕事をうまく成し遂げることである。これを学ぶことで、多くの学生が就職する企業活動について理解を深め、彼らのキャリアデザインに結びつける。	
	海外企業研究	現在、多くの日本企業は、日本だけではなく、海外展開を図りながら活動している。グローバルに展開する企業にて活躍中、および勤務経験のある講師を招き、その企業が属する業界の現状、今後の動向、そして、グローバルに活躍するために求められる人材について研究する。就職活動および卒業後のキャリアデザインに役立てる。	
	日本語文章表現法	本科目は、（1）日本語の文章表現の基礎（表記の常識、レポート・小論文や手紙などの文章表現の方法、および敬語の使い方など）、（2）日本語の特徴、日本語の背景となる日本文化についての知識、（3）様々な文章に触れ、要約などを通じた論理的な文章の書き方、などを身につけると共に、物事を深く考える習慣を身につける。（4）様々な文章（レポート・小論文や手紙など）を書く練習を行う。学習を通じて、自分のことばに責任を持ち、社会生活において、自信を持って文章表現ができるようになることを目指す。	
	TOEFL演習	本科目は、学部への編入や長期留学、また英語力の判定などに使われるTOEFL(Test of English as a Foreign Language)のスコアアップを目指す。コースの最初にTOEFL Sec. IIにおいて必要とされる基本的文法事項の修得と受験スキルの獲得を目指す。基礎的な文法事項をしっかりと修得したのちに、Section I Listeningと Section III Reading のcomprehensionを高めることをめざす。	
	TOEIC演習	本科目は、学部への編入や就職、また英語力の判定などに使われるTOEIC(Test of English for International Communication)のスコアアップを目指しながら、オールラウンドなスキル(リスニング・リーディング・グラマー・ボキャブラリーなど)も伸ばす。1年次の秋学期で、しっかりと基礎的事項を確認しながら、本学の学部編入への学内推薦基準(TOEICでは440点)などをクリアする土台を築く。さらに、英検やTOEFL(Test of English as a Foreign Language)など、他の検定やテストでのスコアアップにもつなげていく。	
	英検演習	本科目は、「英検2級」合格に必要な英語力を身につけることを目指し、実践形式の演習授業を行う。解答のテクニックといったものに終始するのではなく、問題を正しく解答するためにはどのような英語の知識が必要で、それを身につけるためには各自がどのような学習をすればいいのかを中心に講義を進めていく。具体的には、語彙力・熟語力の増強、文法力・読解力の向上、リスニング能力の強化に特に焦点を当てていき、2次面接試験の対策も行う。	

授 業 科 目 の 概 要			
（未来キャリア英語学科）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門 選択 科目	就業体験型PBL	本科目は、本学と企業・行政・学校等でのインターンシップ、および、それらとの協働による事業の企画・立案から実施まで（PDCA）を通して、学生の企画力、情報収集力・活用力、コミュニケーション力、発信力等が向上することを目指す。また、企業・行政・学校等が抱える課題に気づき、その解決のプロセスを学ぶことで、短期大学及び大学卒業後の生涯にわたる「生きる力」につなげる。	
	試験英語A	本科目は、授業外における自学自習の成果に対して、単位認定を行うための科目である。本学の特別プログラムや特別講座などを受講し、その成果を検証するために受験した実用英語検定試験やTOEFLなどの外部試験において、一定の資格または得点の条件を充足した場合に、単位を認定する。	
	試験英語B	本科目は、授業外における自学自習の成果に対して、単位認定を行うための科目である。本学の特別プログラムや特別講座などを受講し、その成果を検証するために受験した実用英語検定試験やTOEFLなどの外部試験において、一定の資格または得点の条件を充足した場合に、単位を認定する。	
	試験英語C	本科目は、授業外における自学自習の成果に対して、単位認定を行うための科目である。本学の特別プログラムや特別講座などを受講し、その成果を検証するために受験した実用英語検定試験やTOEFLなどの外部試験において、一定の資格または得点の条件を充足した場合に、単位を認定する。	
	海外事情研究A	本科目は、留学先大学における学修を念頭に、その準備教育科目として位置付ける。本科目を履修することなく留学先大学において科目を修得し、当該科目が開設されていない場合に、「海外事情研究A」として単位認定を行う。留学先大学における講義、演習内容、授業時間数、成績などを学生ごとに、さらには科目ごとに個別に勘案した上で単位認定を行う。	
	海外事情研究B	本科目は、留学先大学における学修を念頭に、その準備教育科目として位置付ける。本科目を履修することなく留学先大学において科目を修得し、当該科目が開設されていない場合に、「海外事情研究B」として単位認定を行う。留学先大学における講義、演習内容、授業時間数、成績などを学生ごとに、さらには科目ごとに個別に勘案した上で単位認定を行う。	
	海外事情研究C	本科目は、留学先大学における学修を念頭に、その準備教育科目として位置付ける。本科目を履修することなく留学先大学において科目を修得し、当該科目が開設されていない場合に、「海外事情研究C」として単位認定を行う。留学先大学における講義、演習内容、授業時間数、成績などを学生ごとに、さらには科目ごとに個別に勘案した上で単位認定を行う。	
	海外事情研究D	本科目は、留学先大学における学修を念頭に、その準備教育科目として位置付ける。本科目を履修することなく留学先大学において科目を修得し、当該科目が開設されていない場合に、「海外事情研究D」として単位認定を行う。留学先大学における講義、演習内容、授業時間数、成績などを学生ごとに、さらには科目ごとに個別に勘案した上で単位認定を行う。	
	海外事情研究E	本科目は、留学先大学における学修を念頭に、その準備教育科目として位置付ける。本科目を履修することなく留学先大学において科目を修得し、当該科目が開設されていない場合に、「海外事情研究E」として単位認定を行う。留学先大学における講義、演習内容、授業時間数、成績などを学生ごとに、さらには科目ごとに個別に勘案した上で単位認定を行う。	

授 業 科 目 の 概 要			
（未来キャリア英語学科）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
教養 教育 科目	海外事情研究F	本科目は、留学先大学における学修を念頭に、その準備教育科目として位置付ける。本科目を履修することなく留学先大学において科目を修得し、当該科目が開設されていない場合に、「海外事情研究F」として単位認定を行う。留学先大学における講義、演習内容、授業時間数、成績などを学生ごとに、さらには科目ごとに個別に勘案した上で単位認定を行う。	
	海外事情研究G	本科目は、留学先大学における学修を念頭に、その準備教育科目として位置付ける。本科目を履修することなく留学先大学において科目を修得し、当該科目が開設されていない場合に、「海外事情研究G」として単位認定を行う。留学先大学における講義、演習内容、授業時間数、成績などを学生ごとに、さらには科目ごとに個別に勘案した上で単位認定を行う。	
	人権問題論	本科目は、人権および差別に関する具体的な事例を取り上げ、日常生活の中にある差別意識・感情に気づき、さまざまな人権問題や差別問題を自分の問題として考えることができるように学習する。テーマごとに意見を交換しながら、それぞれの問題について理解を深め、よりよき社会人のあり方について考える。	
	法学（日本国憲法2単位を含む）	本科目は、日頃私達の身の回りで起きる法律に関する事柄や、制定・改正が報じられる様々な法律は、難しい表現が使われたりして、なかなか理解しにくいものであるが、難しい法律も、歴史的背景や基礎となる考え方を把握すれば、理解は容易となるため、法の歴史・思想や基本的知識をできるだけ平易に解説することにより、法律問題の理解を深め、法律に関する諸問題について自らの意見を持てるようにする。	
	企業倫理	本科目は、まず企業が利益を追求することの正当性、ストックホルダー理論について学んだ上、それと対照的なステークホルダー理論、そしてステークホルダー理論に基づく企業と諸々の関係者との関係で生じる種々の問題について倫理的な観点から考察する。	
	総合科目A	本科目では、人文科学や社会科学、自然科学といった学問分野を横断的・学際的に取り扱う。特定の学問的な分類に収めず、各担当教員の専門分野を中心に講義を行う。ユニークな科目も存在し、そのような科目を包含して、「総合科目」と称する。	
	総合科目B	本科目では、人文科学や社会科学、自然科学といった学問分野を横断的・学際的に取り扱う。特定の学問的な分類に収めず、各担当教員の専門分野を中心に講義を行う。ユニークな科目も存在し、そのような科目を包含して、「総合科目」と称する。	
	総合科目C	本科目では、人文科学や社会科学、自然科学といった学問分野を横断的・学際的に取り扱う。特定の学問的な分類に収めず、各担当教員の専門分野を中心に講義を行う。ユニークな科目も存在し、そのような科目を包含して、「総合科目」と称する。	
	総合科目D	本科目では、人文科学や社会科学、自然科学といった学問分野を横断的・学際的に取り扱う。特定の学問的な分類に収めず、各担当教員の専門分野を中心に講義を行う。ユニークな科目も存在し、そのような科目を包含して、「総合科目」と称する。	
	総合科目E	本科目では、人文科学や社会科学、自然科学といった学問分野を横断的・学際的に取り扱う。特定の学問的な分類に収めず、各担当教員の専門分野を中心に講義を行う。ユニークな科目も存在し、そのような科目を包含して、「総合科目」と称する。	

授 業 科 目 の 概 要			
(未来キャリア英語学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
教養 教育 科目	スポーツ健康科学A	本科目は、テニス、バレーボール、バドミントン、バスケットボールなどのスポーツを教材として、積極的に健康づくりに挑戦するとともに、その理論と実践の融合を図りながら、基礎体力の育成や身体運動のメカニズムを学ぶ。また、スポーツを通して、友人の輪を広げ、協調性や責任感の大切さを体得して、社会生活における基本的なマナーを高めることを目指す。	
	スポーツ健康科学B	本科目は、テニス、バレーボール、バドミントン、バスケットボールなどのスポーツを教材として、積極的に健康づくりに挑戦するとともに、その理論と実践の融合を図りながら、基礎体力の育成や身体運動のメカニズムを学ぶ。また、スポーツを通して、友人の輪を広げ、協調性や責任感の大切さを体得して、社会生活における基本的なマナーを高めることを目指す。	
	ボランティア実習A	本科目は、海外での活動を含め本学が認めるボランティア活動において、社会的な経験を重ねることによって人格形成を養うことを目的とする。授業として開講されるのではなく、その活動時間数が60時間以上のものを対象とし、活動内容、ボランティア活動団体などからの報告書、学生が大学に提出するレポートなどをもとに単位を認定する科目である。	
	ボランティア実習B	本科目は、海外での活動を含め本学が認めるボランティア活動において、社会的な経験を重ねることによって人格形成を養うことを目的とする。授業として開講されるのではなく、その活動時間数が60時間以上のものを対象とし、活動内容、ボランティア活動団体などからの報告書、学生が大学に提出するレポートなどをもとに単位を認定する科目である。	
	ボランティア実習C	本科目は、海外での活動を含め本学が認めるボランティア活動において、社会的な経験を重ねることによって人格形成を養うことを目的とする。授業として開講されるのではなく、その活動時間数が60時間以上のものを対象とし、活動内容、ボランティア活動団体などからの報告書、学生が大学に提出するレポートなどをもとに単位を認定する科目である。	
	ボランティア実習D	本科目は、海外での活動を含め本学が認めるボランティア活動において、社会的な経験を重ねることによって人格形成を養うことを目的とする。授業として開講されるのではなく、その活動時間数が60時間以上のものを対象とし、活動内容、ボランティア活動団体などからの報告書、学生が大学に提出するレポートなどをもとに単位を認定する科目である。	
	ボランティア実習E	本科目は、海外での活動を含め本学が認めるボランティア活動において、社会的な経験を重ねることによって人格形成を養うことを目的とする。授業として開講されるのではなく、その活動時間数が60時間以上のものを対象とし、活動内容、ボランティア活動団体などからの報告書、学生が大学に提出するレポートなどをもとに単位を認定する科目である。	
	就業体験実習A	本科目は、本学が認める就業体験によって、会社や仕事の実態を体験的に学習し、職業観や勤労観を育むことを目的とする。授業として開講されるのではなく、その研修時間数が60時間以上のもので、実習内容、実習先企業などからの報告書、学生が大学に提出するレポートなどをもとに単位を認定する科目である。	
	就業体験実習B	本科目は、本学が認める就業体験によって、会社や仕事の実態を体験的に学習し、職業観や勤労観を育むことを目的とする。授業として開講されるのではなく、その研修時間数が60時間以上のもので、実習内容、実習先企業などからの報告書、学生が大学に提出するレポートなどをもとに単位を認定する科目である。	
	就業体験実習C	本科目は、本学が認める就業体験によって、会社や仕事の実態を体験的に学習し、職業観や勤労観を育むことを目的とする。授業として開講されるのではなく、その研修時間数が60時間以上のもので、実習内容、実習先企業などからの報告書、学生が大学に提出するレポートなどをもとに単位を認定する科目である。	

授 業 科 目 の 概 要			
（未来キャリア英語学科）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
教養 教育 科目	就業体験実習D	本科目は、本学が認める就業体験によって、会社や仕事の実態を体験的に学習し、職業観や勤労観を育むことを目的とする。授業として開講されるのではなく、その研修時間数が60時間以上のもので、実習内容、実習先企業などからの報告書、学生が大学に提出するレポートなどをもとに単位を認定する科目である。	
	就業体験実習E	本科目は、本学が認める就業体験によって、会社や仕事の実態を体験的に学習し、職業観や勤労観を育むことを目的とする。授業として開講されるのではなく、その研修時間数が30時間以上のもので、実習内容、実習先企業などからの報告書、学生が大学に提出するレポートなどをもとに単位を認定する科目である。	
	中国語Ⅰ	本科目は、初学者を対象に中国語を基礎から学ぶ。まず発音と声調のマスターが不可欠である。発音の練習に重点を置き、構文を中心とした基本文法知識を修得しつつ、日常生活における初歩的なコミュニケーション能力を身につける。さらに、視聴覚教材などを用いて中国の言語文化に関して知識を深める。「中国語Ⅳ」修得までの2年間の学習で実用中国語技能検定試験3級[HSK／中国漢語水平考試5級程度]合格を目指す。	
	中国語Ⅱ	本科目は、「中国語Ⅰ」で修得した基礎知識が定着するために、発音、単語、文法の基礎を復習しながら、中国旅行時に必要な程度の基礎的なコミュニケーション能力を養成する。同時に語彙を強化し作文力を養うとともに、まとまった中国語の文章を理解する読解力を修得する。さらに、視聴覚教材などを用いて中国文化、社会に関する知識を深め、国際感覚を磨く。	
	中国語Ⅲ	本科目は、「中国語Ⅰ・Ⅱ」において基礎的な文法、作文力、読解力を修得している学生を対象として、4技能(読む・書く・聴く・話す)の運用能力のレベルアップを図る。聴くことと話すことに重点を置きつつ、日常生活のさまざまな場面において中国語を使って実践的なコミュニケーションができるよう研究を行う。	
	中国語Ⅳ	本科目は、「中国語Ⅲ」に引き続き、中国語の4技能にわたって、より高度な学習活動を行い中級程度の中国語をマスターすることを目指す。中国の歴史、文化、社会などに関するテーマで、スピーチや討議、エッセイなどを通じて、お互いの考えを伝えあう演習を行い、中国語によるコミュニケーション能力を確かなものにする。	
	スペイン語Ⅰ	本科目は、スペイン語を基礎から学ぶための科目である。発音と初歩的な文法を中心として、語彙・日常会話表現・慣用表現なども学習する。さらに、教科書以外の教材(視聴覚教材など)を用いて、スペイン語圏(スペイン・ラテンアメリカ)の文化・歴史・社会・時事問題なども学んでいく。	
	スペイン語Ⅱ	本科目は、「スペイン語Ⅰ」から継続履修する科目である。引き続き、スペイン語の初歩的な文法や語彙・日常会話表現・慣用表現などの学習を進め、コミュニケーション能力を高めていく。「スペイン語Ⅰ」と同様に、視聴覚教材などを用いた学習を通して、スペイン語圏(スペイン・ラテンアメリカ)の文化・歴史・社会・時事問題なども幅広く学ぶ。短大1年次開講の「スペイン語Ⅰ・Ⅱ」では、現在表現(直説法現在)を使いこなせるようになることを目標とする。	
	スペイン語Ⅲ	本科目は、「スペイン語Ⅰ・Ⅱ」を修得した学生を対象とした科目である。授業は、「スペイン語Ⅰ・Ⅱ」の復習を中心として進められる。実践的なコミュニケーション能力を修得するため、既に知っている文法事項や表現を用いた演習を行う。併せて、スペイン語の読解や作文・語彙の学習も実施し、4技能(読む・書く・聴く・話す)の運用能力のレベルアップを図る。「スペイン語Ⅰ・Ⅱ」と同様に、スペイン語圏(スペイン・ラテンアメリカ)事情に関する学習も実施する。	

授 業 科 目 の 概 要			
（未来キャリア英語学科）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
教養 教育 科目	スペイン語Ⅳ	本科目は、「スペイン語Ⅲ」に引き続き、既習事項の復習を実施する。さらに、過去・未来・命令・接続法などの表現を新たに修得する。より実践的なコミュニケーション能力を修得するための演習を行い、4技能（読む・書く・聴く・話す）のさらなるレベルアップを図る。	
	フランス語Ⅰ	本科目は、初学者を対象にフランス語を基礎から学ぶ。まず発音の基礎に慣れることから始める。発音に慣れたところで文法を基礎から学んでいく。さらにそれらの学習と並行して、初歩的なコミュニケーション能力を身につける。またフランス語だけではなく、フランスに関する話題に触れるようにする。	
	フランス語Ⅱ	本科目は、「フランス語Ⅰ」で修得した知識を基礎として、さらにフランス語能力アップを目指す。日常的なコミュニケーション能力の修得、レクチャー（リーディング）などを通して、会話・読解力をつける。またフランス語の学習と並行して、フランスの文化・歴史を学ぶ。	
	ハングルⅠ	本科目は、初学者を対象にハングルを基礎から学ぶ。日本人にとってやや難しいといわれる文字と発音をしっかりと学習しながら、助詞や動詞など文法の基本的な部分も学び、初歩的なコミュニケーション能力を養う。さらに、視聴覚教材などを用いて韓国の歴史に関して知識を深める。	
	ハングルⅡ	本科目は、「ハングルⅠ」で修得した基礎知識が定着するために、発音、文法の復習をしながら、韓国旅行時に必要な程度の基礎的なコミュニケーション能力を養成する。同時に語彙を強化し作文力を養うとともに、まとまったハングルの文章を理解する読解力も修得する。さらに、視聴覚教材などを用いて韓国の文化、社会に関する知識を深める。	

学校法人 関西外国語大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員		令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
関西外国語大学短期大学部				→	関西外国語大学短期大学部				
英米語学科	800		1,600		英米語学科	<u>550</u>		<u>1,100</u>	定員変更(△250)
					未来キャリア英語学科	<u>150</u>		<u>300</u>	学科の設置 (届出)
計	800		1,600		計	<u>700</u>		<u>1,400</u>	
関西外国語大学					関西外国語大学				
3年次					3年次				
外国語学部					外国語学部				
英米語学科	865	300	4,060		英米語学科	<u>730</u>	<u>200</u>	<u>3,320</u>	定員変更(△135) 3年次編入学定員変更(△100)
スペイン語学科	250	25	1,050		スペイン語学科	250	<u>20</u>	<u>1,040</u>	3年次編入学定員変更(△5)
英語・デジタルコミュニケーション学科	200	0	800		英語・デジタルコミュニケーション学科	200	0	800	
					国際日本学科	<u>200</u>	<u>0</u>	<u>800</u>	学科の設置 (届出)
3年次					3年次				
英語国際学部					英語国際学部				
英語国際学科	700	100	3,000		英語国際学科	700	<u>75</u>	<u>2,950</u>	3年次編入学定員変更(△25)
3年次				→	3年次				
英語キャリア学部					英語キャリア学部				
英語キャリア学科	170	—	680		英語キャリア学科	170	—	680	
英語キャリア学科	120	—	480		英語キャリア学科	120	—	480	
英語キャリア学科 小学校教員コース	50	—	200		英語キャリア学科 小学校教員コース	50	—	200	
3年次					3年次				
国際共生学部					国際共生学部				
国際共生学科	70	30	340		国際共生学科	70	30	340	
計	2,255	455	9,930		計	<u>2,320</u>	<u>325</u>	9,930	
関西外国語大学大学院				→	関西外国語大学大学院				
外国語学研究科					外国語学研究科				
英語学専攻(M)	15	—	30		英語学専攻(M)	15	—	30	
言語文化専攻(M)	20	—	40		言語文化専攻(M)	20	—	40	
英語学専攻(D)	3	—	9		英語学専攻(D)	3	—	9	
言語文化専攻(D)	3	—	9		言語文化専攻(D)	3	—	9	
計	41		88		計	41		88	